

地域説明会の実施結果について

1 実施概要

1.1 目的

パブリックコメントの実施と合わせて、直接、市民へ説明することで、広く周知し意見を聴取する機会を設定する。

1.2 会議方式

説明会形式（再編計画（案）の説明動画を用いた）
質疑応答

1.3 テーマ（説明内容）

- CoCoバス再編計画（案）について
（これまでの取組み、検討経過、各ルート、運賃及び割引制度、ガイドライン）

2 開催日時・場所

日時	場所	会議室
5月14日(土) 13:00～14:20	緑センター	学習室 A・B・C
5月14日(土) 16:00～17:00	東センター	学習室 A・B
5月15日(日) 10:30～12:10	萌え木ホール	会議室 A・B
5月15日(日) 15:00～16:10	貫井北センター	学習室 A・B

※いずれの会場も、内容は同じ。時間は、実際の所要時間を記載。

3 参加方法

以下の期間及び方法で事前申し込みを受け付けた。

期間：4月15日（金）～4月25日（月）17時まで（郵送4月25日必着）

方法：郵送、直接持参、FAX、メール

※手話あり

※事前応募の段階では定員に満たなかったため、当日受付を実施し、来場者全員の参加を受け付けた。

4 事前周知

地域説明会の周知方法については、市報、市公式HP、ツイッター、CoCoバス車内ポスター、市政だより、広報掲示板、公共施設へのチラシ設置で周知を実施した。また、第一回及び第二回地域懇談会の参加者に対し、開催案内を通知、東町1丁目の新ルートとなる沿線の自治会加入世帯へ案内を配布した。

5 説明会参加状況

令和4年5月14日（土）、15日（日）に地域説明会を小金井市内の4箇所で実施し、合計で23人（うち途中退席1人）の方々に参加頂いた。各回の参加状況を以下に示す。

なお、事前申込者は18人（うち当日欠席は7人）、当日受付者は12人であった。

日時	会場	参加者数	参加者の属性別内訳		
			性別	年代	居住地
5/14(土) 13時～ 14時20分	緑センター	9人	男性4人 女性5人	50代 2人 70代 6人 80代 1人	梶野町3丁目 1人 緑町3丁目 5人 緑町4丁目 1人 貫井南町1丁目 1人 貫井南町5丁目 1人
5/14(土) 16時～ 17時	東センター	4人	男性2人 女性2人	70代 2人 80代 1人 90代 1人	東町1丁目 2人 東町3丁目 1人 中町2丁目 1人
5/15(日) 10時30分～ 12時10分	萌え木ホール	9人	男性7人 女性2人	40代 1人 50代 1人 60代 4人 70代 2人 80代 1人	梶野町5丁目 1人 緑町3丁目 1人 東町2丁目 1人 中町4丁目 1人 前原町3丁目 1人 前原町4丁目 1人 貫井南町1丁目 1人 貫井南町3丁目 2人
5/15(日) 15時～ 16時10分	貫井北センター	1人	男性1人 女性0人	70代 1人	本町5丁目 1人

6 説明会の意見について

6.1 各会場の説明会結果

各会場の説明会の結果および個別意見の一覧を以下に会場別に示す。

1) 緑センター



a) 意見の一覧

主な意見（緑センター）	意見に対する見解
<p>運賃を倍にするのではなく、物価が上がっているのにせめて 150 円くらいに抑えたいのではないかと。高齢者は割引を受けることで運賃据え置きとなるが、子育て世代のお母さんなども利用しているので値上げはかわいそう。</p>	<p>路線バスは CoCo バス等との競合により、運行便数が減少している状況であり、維持できず廃線等になると、公共交通不便地域が増えてしまう可能性もある。よって、CoCo バスが運行する地域と、路線バス沿線地域との運賃差の不平等を解消するため、路線バスの初乗りと同等の料金とする。</p> <p>また、収入の減少及び運行経費の増大なども鑑み、持続可能な運行形態を目指すため、運賃・割引制度のシミュレーションの結果や他市事例（多摩地域市部）なども参考に検討した結果である。</p>
<p>今の状況から多少の値上げはやむを得ないし、高齢者割引が適用されるのであればやむを得ない。ただ、いきなり 80 円の値上げはべらぼうすぎる。</p>	
<p>運賃について、路線バスの利用者から、不公平という意見を聞いたことがない。若者世代でも賃金が向上しているわけではないので、生活に与える影響が大きいと思う。運賃を 180 円にする説明が他との競合だけでは納得いかない。</p>	
<p>ムーバスは 100 円だが、見直しの予定はあるのか。ムーバスが値上げしないのに、CoCo バスを値上げするのはおかしいのではないかと。</p>	<p>武蔵野市で現時点では見直し予定はないと聞いている。</p>
<p>高齢者割引は、毎回、介護保険被保険者証を見せないといけないのか。</p>	<p>高齢者割引は、介護保険被保険者証を提示して支払うかまたは高齢者専用回数券を事前に購入することで毎回携帯しなくても利用できる。</p>
<p>回数券は、今までは車内で購入する方が多い。再編後は車外での販売のみとのことだが、どのように利便性の向上を検討しているのか。</p>	<p>確定ではないが、武蔵小金井駅及び東小金井駅のバス停の近く（一般店舗）で販売できるよう調整している。詳細は決定次第案内を行う。</p>
<p>運賃箱に入れる回数券の枚数が倍となるのは手間である。</p>	<p>小児運賃 90 円の設定上必要であり、一般運賃 180 円の支払いの際は 90 円券 2 枚の使用となる。</p>

主な意見（緑センター）	意見に対する見解
北東部循環は利用者が多いため、便数は増えないのか。	再編基本方針及び再編運行基準により、便数増加は難しい。
運賃が 180 円となると、一般の利用者が多い北東部循環は収入が増えると想定される。再編後の収支の状況を見て、増便も検討してほしい。	ご意見として伺う。
北東部循環のバス停の新設や位置の調整について、「引き続き課題とします。」と記載されているが、どのような課題を検討していくのか。	ここで検討を終了するのではなく、引き続き状況を確認して検討していく。
関野町に住んでいるが、路線バスは平日は 1 日 12 本しかなく、時間帯によって運行頻度に差があるため、使いにくい。路線バスの増便を検討いただきたい。	(路線バス事業者へご意見を伝える)
新型コロナウイルスの流行により、小金井公園でのイベントが減少している状況だが、これまで利用が増えるイベント時は臨時便を運行いただいたようだ。今後もイベント時には臨時便が運行されるのか。	増発便を運行していた。必要に応じて今後も検討する。
CoCo バスに対する小金井市からの補助金の状況を教えてください。	運行収入から経費を差し引いて不足する部分について市から補助金を交付している。詳細な数値は、第 2 回地域懇談会の資料に記載しており、HP に掲示している。
高齢者割引について、毎回、介護保険被保険者証を見せるのではなく、IC カードに高齢者であることをインプットできないものか。	IC カード自体にそのような設定はできない。

2) 東センター



a) 意見の一覧

主な意見（東センター）	意見に対する見解
東町一丁目ではどこにバス停を設置する予定か。	2箇所の設置を予定している。
中町循環と東町循環を統合しないのか。	検討したが、所要時間が長くなり、1時間に2便を確保することが難しいことから、別路線として運行することとした。公共交通不便地域を解消する目的を踏まえ、今回の再編では統合は難しいという結果になった。
東町から武蔵小金井駅への移動、中町から東小金井駅への移動が不便である。乗り換えの停留所間の距離も長く、不便であるとの声を第1回の地域懇談会で挙げた。統合が難しいのであれば、乗り換えにかかる距離を短くしてほしい。	
路線バスで、武蔵野病院へ行く方が多かったが、路線バスが通勤時間帯を主とした運行となっており、高齢者の通院には不便である。	
中町と東町を統合すれば、市役所新庁舎へのアクセスが良くなるのではないか。	当該路線は利用者が非常に少なく、維持が精一杯の路線であるため、増便は困難と考える。
武蔵境から東小金井の路線バスは増便されないのか。路線バスであればシルバーパスで無料で利用することができる。	

3) 萌え木ホール



a) 意見の一覧

主な意見（萌え木ホール）	意見に対する見解
前回はドライバーの確保、賃金の上昇、収支等の定量的なデータが示されていたが、今回は提示されなかった。運賃について事業者との競合のみで設定されているように捉えられる。運賃のシミュレーションは実施しているのか。	運賃変更による収支の状況変化シミュレーションや地域懇談会での意見収集結果は、公共交通会議で報告の上、HPにて会議資料を公開している。
補助金について、北東部循環はもうかっているのに、なぜこんなに払うのか。	収入の減少により、経費が上回ったため。
特に北東部循環は市外の人々の利用も多い。ICカードにより市外の人と市民の運賃を分ける方法はないのか。	ICカードの機能は全国共通となっており、特定の交通に対して市民・市民以外を区別するような設定はできない。
180円では高齢者の生活への影響が大きく、小銭が増えて支払いが面倒。介護保険被保険者証を持ち歩くのは面倒である。	高齢者割引を導入する予定であり、介護保険被保険者証を提示して支払うかまたは高齢者専用回数券を事前に購入することで毎回携帯しなくても利用できる。
介護保険被保険者証を持ち歩くことなくしそうで不安。それに代わる別の形で乗れると良い。	
野川七軒家循環について、乗り残しの課題はどうなっているか。ICカードは利用できるのか。	乗り残しの状況は令和4年1月末から車両を変え、少し減ったが、今後も確認していく。 ICカードは本市のミニ車両では使用できない。
値上げによる影響は、どこの自治体の事例をもとにしたのか。	東村山市が100円から180円に変更した際の事例(減少率23%)をもとにしている。
100円から180円だと、あまりに一気に金額が上がってしまう印象。	CoCoバスが運行しておらず路線バスのみが運行している箇所との公平性を鑑み、路線バスの補完の観点から180円とする。また、収入の減少及び運行経費の増大なども鑑み、持続可能な運行形態を目指すため、運賃・割引制度のシミュレーションの結果や他市事例なども参考に検討した結果である。
回数券は、どこで販売する予定か。買いに行くとなると、高齢者の負担となるが、車内での販売はできないのか。	確定ではないが、武蔵小金井駅及び東小金井駅のバス停の近く(一般店舗)での販売を調整している。車内販売は、運転手の負担が大きいため、安全確保及び遅延防止の観点から車外のみで販売することとした。
運行本数は30分に1本でなく20分に1本に増えないのか。	全体の台数を変えないことを方針としているため、運行本数も現行のままとする。

主な意見（萌え木ホール）	意見に対する見解
<p>シルバーパスで路線バスの武 51 を無料で利用することができるなら、CoCo バスのルートは変えないでほしい。公共交通不便地域が平面的な条件で設定されているが、高低差を考慮すると坂下がとても不便。高低差を加味して考えても良いと思う。貫井前原循環は今のルートでよいのではないか。</p>	<p>路線バスの存続が困難な状況を考慮して、CoCo バスと路線バスの武 51 との分担を検討した。シルバーパスをCoCo バスにも適用する場合、市の財政負担が増大し、持続可能な運行が難しくなることから、代替制度として高齢者割引を導入することとした。</p>
<p>東町在住だが、交通危険、騒音・振動への対応について、具体的な仕組みを検討いただきたい。武蔵野市では道路整備を実施したとのことである。運行速度は状況によって対応が異なる場合があるため、運転士向けのマニュアル作成をしてほしい。</p>	<p>運行事業者と連携して最徐行を徹底するなど安全確保を徹底する。 注意喚起の看板も設置予定である。</p>
<p>地域の実情に応じて柔軟に見直しできる体制を構築いただきたい。</p>	<p>ガイドラインにて定める地域提案の仕組みを運用していきたい。</p>
<p>ガイドラインでは、市民が自由に意見を挙げられる仕組みを作っておいてほしい。意見をまとめないと地域公共交通会議で検討してもらえないとなると、かえって硬直的になってしまうと思う。</p>	
<p>今回提示の案は決定版なのか、今後修正することがあるのか。</p>	<p>再編計画は、地域公共交通会議にて今回の地域説明会及びパブコメの結果を報告・協議の上決定する。</p>
<p>CoCo バスを走らせる考え方の基本は何か。</p>	<p>CoCo バスの再編基本方針及び再編運行基準を基にしている。</p>
<p>今回再編計画を決定しても、市長が変わると方針が変わってしまうのか。</p>	<p>市として長く検討を行っている事項であり、事業の継続性の観点から、大きく方針が変わることは考えにくい。</p>

4) 貫井北センター



a) 意見の一覧

主な意見（貫井北センター）	意見に対する見解
<p>稲穂神社前から小金井市役所入口間の距離が長い。上之原会館の利用者が多いのになぜバス停を設置しないのか。</p>	<p>当該区間については、過去にバス停を設置できないか沿線にお話ししたが、承諾が得られなかった経過がある。 引き続き課題とする。</p>
<p>上之原会館付近へのバス停設置要望について、P14の「バス停について」にも追記いただきたい。</p>	<p>地域公共交通会議に報告する。</p>